

2019年5月22日(水) 第5号

共同研究推進委員会通信

発行：教育学部共同研究推進委員会共同研究推進委員長

第1回附属学校部会会議が開催されました

新しい共同研究推進委員会規程の改正により、附属小学校、附属中学校、学部の教員が一緒になって協議する会議体ができました。それが共同研究推進委員会附属学校部会です。

5月21日(火)に記念すべき第1回会議が附属小学校で開催されました。会議では附属学校から、現在の研究内容や研究の進め方などについて説明がありました。その後、課題や今後の方向性などについて意見交換を行いました。主な意見について、以下に紹介します。

- ・附属小学校では総論などの作成については学部教員の関わりが薄かった。今後は学部の教員を交えて総論を作成していきたい。
- ・方向性は決まっているがやることが多い。
- ・附属学校教員は教科を超えて研究がなされているが、共同研究にあたる学部教員同士は教科を超えた研究がなされているだろうか。学部の共同研究者も教科を超えた研究ができるようになるとよいのではないか。
- ・附属中学校では週時程の中に教科会が設定されている。学部の共同研究者もこの教科会に出席することにより日常的に附属学校の研究に関われるのではないか。
- ・附属小学校は辻先生が、附属中学校は里

井先生が総論を担当すると同時にコーディネーターとしての役割を担い学部との共同研究を進めていく。

- ・附属小学校と中学校の研究をつなぐ役割は共同研究推進委員長が担い、来年度に向けて附属小・中の研究主任を中心に議論を重ねていく。
- ・附属学校の研究について通信などを通して学部教員にも随時お知らせしていくことも大切ではないか。

附属学校部会の委員は以下のとおりです。

▲大城賢(推進委員長) ▲島袋優(附属小学校長) ▲伊藤正紀(附属小学校研究主任) ▲小宮輝子(同研究副主任) ▲與那覇直樹(附属中学校長) ▲中村謙太(附属中学校研究主任) ▲島袋靖之(同研究副主任) ▲森力(教職センター) ▲辻雄二(教育学部) ▲上江洲朝男(教職センター) ▲里井洋一(教育学部) ▲福田英昭(教育学部) ▲小嶋季輝(外部共同研究者)



<附属小の研究について説明する伊藤正紀先生>